

蔵王樹氷山行報告

山城：蔵王連峰

日時：2017. 3月4, 5日

メンバー：萱野香 (CL)、小原 (食料)、宮城 (食料)、齋藤健 (記録)

コース：蔵王ロープウェイ～地蔵岳 (～熊野岳～苧田岳：計画)

内容

4日4時千葉発京葉道路、首都高、東北道、山形道経由蔵王温泉11時着

蔵王に入る前まで、風も穏やかな日差しのある良い天気であったが、蔵王では曇り空で強風となる。山頂天気予報では登山に不適な荒れた天気であったし、実際山頂方面は雲の中で何も見えず。テント泊には風が強すぎるので、本日の登山は諦め、明日、身軽に登山することにした。とりあえず、蔵王温泉にて散策、入浴、休息して時間をつぶし今夜の天場探しとなった。蔵王温泉の駐車場は何処も土日は有料、しかも人が多く天場には不向きだったので、隣にある猿倉スキー場の広々と除雪され、誰もいない第2駐車場を天場とした。

ちょうど夕暮れ、気温-1度の中、テント設営、すぐにテキパキと食事の用意、Gと3人娘の和やかな、そして豪華な食事となり、Gの記念となる夜となった。

5日

目が覚めると車の轍の音が響き、人の足音が聞こえた。しばらくすると何台もの車の音と足音が聞こえた。さらにおはようございますとの挨拶まで残して行く人もいた。後で分かったが今日は猿倉スキー場でスラロームスキー競技会があり、その関係者のようであった。

昨夜食べきれなかった粕汁とごはんからなる鍋一杯のリゾットを食し、8時30分から動くロープウェイに乗るべく蔵王温泉へ向かった。

既に駐車場は車で一杯だったが、辛うじて間に合い駐車できた。ロープウェイも混んでいて、スキーヤーは1時間半待ちであったが、我々は観光客扱いでほどなく乗ることができた。

ロープウェイを乗り継ぎ、外に出ると強風で視界はほとんど無い状態であった。

石の地蔵像は胸まで雪に埋もれ、顔を出していた。観光客の多くはここままで、これより上へはロープをくぐり山頂方面となる。多くのツアーの人達とともに山頂へ向かう。強風とホワイトアウトの中、方向を確かめながら進むとほどなく山頂となった。ここから先は全くのホワイトアウト、危険を冒して行くほどのことはないと思われ、登山はここまでとした。

後は下山しながらモンスターの中を見物しながら進むが視界がないのでモンスター群を見たという感じではなかった。

午後には天候が回復するとの期待からロープウェイ駅舎のレストランにて待機するが一向に好転する気配がなく、下山となった。

実は、山行前から天候には不安はあったがちらっとでも樹氷が見れたら、それでいいと納得して出掛けてきたので、メンバーには不満はなかった。

来年はぜひ天候を見定めてモンスター群を見に来ようと約束して、身も心もまーるい山行

を終了とした。

下山後は pH 2 の酸性（肌がピリピリとする）硫黄泉にゆっくりつかり、山形食品物産館にて食事など楽しみ帰路に就いた。



ホワイトアウトの山頂にて



モンスター樹氷と戯れる